

BIM図面審査を加速させる 共通データ環境(CDE)「ArchSync」



～インストール不要。ブラウザだけで始める、次世代の確認申請～

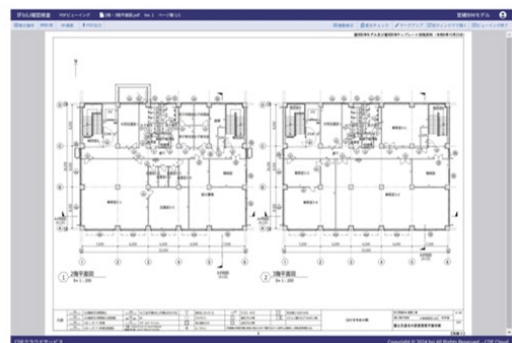
■ ArchSyncとは？

ICBAが提供する、建築確認申請における「BIM図面審査」を主目的とした共通データ環境（CDE: Common Data Environment）です。ICBAの「電子申請受付システム」とシームレスに連携し、BIMデータを用いた効率的な図面審査を実施します。

IFCデータの表示（3Dビュー）



図面データの表示（PDFビュー）



■ 主要機能と導入のメリット

【メリット】 整合性確認の合理化



BIMデータから出力されたPDF図面とIFCデータを活用することで、図面間の整合性確認の一部を省略し、審査期間の短縮が図れます。

- 書類作成の負担軽減
- 審査期間の短縮
- 確認検査の向上



【機能】 高度なビューイング環境

3Dモデル（IFC）と2D図面（PDF）の両方をブラウザ上で閲覧可能。試験の構造情報や外部床縁も自由自在です。

- 3D/2Dの同時閲覧
- 属性情報の視認
- 断面・切断表示
- ズーム・検索機能

【機能】 円滑なコミュニケーション



図面上の特定の場所に直接メモを書き込む「マークアップ機能」や、ファイル・フォルダ単位での「チャット機能」を搭載。申請者と審査者とのやり取りの効率化を実現します。

- マークアップ機能
- 指摘内容の保存
- ファイル・フォルダ単位のチャット



【機能】 図面の整合性を守るロック機能

審査中の意図しないファイル更新を防止。データの先祖返りや不整合を防ぎ、審査の信頼性を確保します。

- 意図しない更新の防止
- データの先祖返り防止
- 不整合の防止

■ 導入のポイント：専用ソフトは不要

ダウンロード・インストール不要

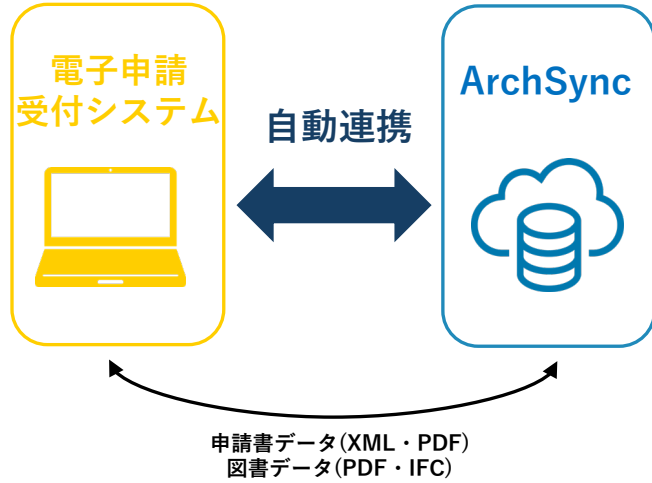
クラウドサービスのため、専用の図面ソフトやビューワをPCにインストールする必要はありません。インターネット環境と標準的なWebブラウザがあれば、いつでもどこからでもアクセス可能です。



■ システム連携とデータ管理

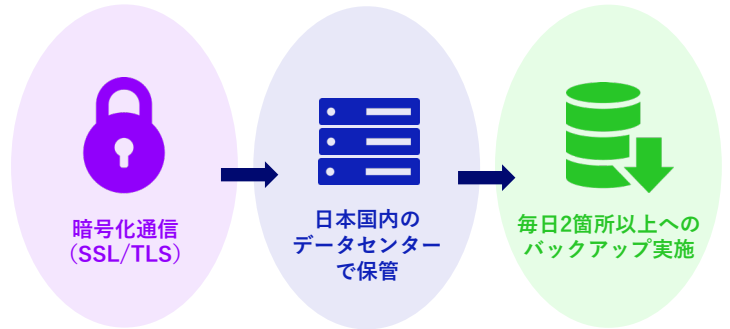
■ 電子申請受付システムとの連携

電子申請受付システムで入力された申請書情報 (XML)と図面データが (PDF) がArchSyncに連携されます。



■ 万全のセキュリティ

暗号化通信の採用、日本国内のデータセンターでの保管、毎日2箇所以上へのバックアップ実施など、重要図面を扱うための厳格な基準をクリアしています。



■ ArchSync利用料

審査機関の運用規模に合わせて、ストレージ容量単位でご契約いただけます。

年間利用料(円/税別)

利用ストレージ容量	指定検査機関など	特定行政庁
5 GB	250,000	250,000
10GB	+14万 390,000	250,000
15GB	+14万 530,000	+28万 530,000
⋮	⋮	⋮
100GB	+14万 2,910,000	+14万 2,910,000

令和9年3月未迄 10GB 0円!!

●リアルタイム計測

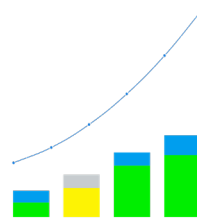
ストレージ使用量はほぼリアルタイムでカウントされます。

●月割り対応

年度途中からの利用も可能です。(月割計算)

●利用料の詳細についてはこちら

<https://www.icba.or.jp/bim/#1>



■ 推奨動作環境

快適なBIM図面審査のために、以下の環境を推奨しています。

- OS: Microsoft Windows11
- Webブラウザ: Google ChromeまたはMicrosoft Edge
- ネットワーク: インターネット接続環境

■ お問い合わせ先



一般財団法人建築行政情報センター

<https://www2.icba.or.jp/contact/index.php>

